

年	組	番	氏名
---	---	---	----

平成29年度 B1(3)

1 1から9までの数が書かれたカードが1枚ずつあります。



この中から2枚のカードを選んで、次のような2けたのひき算の答えについて考えます。

カードを使った2けたのひき算

選んだ2枚のカードを並べて、2けたの整数を2つ作り、大きい数から小さい数をひきます。

例えば、1と9を選んだ場合、19と並べると19がつくれます。91と並べると91がつくれます。

2けたのひき算の式 $91 - 19$

2けたのひき算の答え 72

選んだ2枚のカードに書かれた数どうしの差を、「カードの差」と呼ぶことにします。例えば、1と9の2枚のカードの差は8です。

あやかさんは、カードの差が1, 2, 3の場合について、すべての選び方で2けたのひき算をしました。

カードの差が1の場合

- $21 - 12 = 9$
- $32 - 23 = 9$
- $43 - 34 = 9$
- $54 - 45 = 9$
- $65 - 56 = 9$
- $76 - 67 = 9$
- $87 - 78 = 9$
- $98 - 89 = 9$

カードの差が2の場合

- $31 - 13 = 18$
- $42 - 24 = 18$
- $53 - 35 = 18$
- $64 - 46 = 18$
- $75 - 57 = 18$
- $86 - 68 = 18$
- $97 - 79 = 18$

カードの差が3の場合

- $41 - 14 = 27$
- $52 - 25 = 27$
- $63 - 36 = 27$
- $74 - 47 = 27$
- $85 - 58 = 27$
- $96 - 69 = 27$



あやか

カードの差が1, 2, 3の場合、2けたのひき算の答えは、それぞれ9, 18, 27になっています。

※ 問題は、次のページに続きます。

(3) そうたさんは、カードの差が1, 2, 3の場合の2けたのひき算の答えを下のようにまとめました。



そうた

カードの差が1の場合、2けたのひき算の答えは9です。
カードの差が2の場合、2けたのひき算の答えは18です。
カードの差が3の場合、2けたのひき算の答えは27です。
カードの差がわかれば、2けたのひき算の答えはかけ算で簡単に求めることができます。

そうたさんが言うように、カードの差を使って、2けたのひき算の答えをかけ算で簡単に求めることができるきまりがあります。

このきまりを、言葉と数を使って書きましょう。

そのとき、「カードの差」、「2けたのひき算の答え」の2つの言葉を使いましょう。

解答らん

年 組 番 氏名

平成29年度 B **1**(3)

1 1 から 9 までの数が書かれたカードが 1 枚ずつあります。



この中から 2 枚のカードを選んで、次のような 2 けたのひき算の答えについて考えます。

カードを使った 2 けたのひき算

選んだ 2 枚のカードを並べて、2 けたの整数を 2 つつくり、大きい数から小さい数をひきます。

例えば、**1** と **9** を選んだ場合、**19** と並べると 19 がつくれます。**91** と並べると 91 がつくれます。

2 けたのひき算の式 $91 - 19$

2 けたのひき算の答え 72

選んだ 2 枚のカードに書かれた数どうしの差を、「カードの差」と呼ぶことにします。例えば、**1** と **9** の 2 枚のカードの差は 8 です。

あやかさんは、カードの差が 1, 2, 3 の場合について、すべての選び方で 2 けたのひき算をしました。

カードの差が 1 の場合	カードの差が 2 の場合	カードの差が 3 の場合
$21 - 12 = 9$	$31 - 13 = 18$	$41 - 14 = 27$
$32 - 23 = 9$	$42 - 24 = 18$	$52 - 25 = 27$
$43 - 34 = 9$	$53 - 35 = 18$	$63 - 36 = 27$
$54 - 45 = 9$	$64 - 46 = 18$	$74 - 47 = 27$
$65 - 56 = 9$	$75 - 57 = 18$	$85 - 58 = 27$
$76 - 67 = 9$	$86 - 68 = 18$	$96 - 69 = 27$
$87 - 78 = 9$	$97 - 79 = 18$	
$98 - 89 = 9$		



カードの差が 1, 2, 3 の場合、2 けたのひき算の答えは、それぞれ 9, 18, 27 になっています。

※ 問題は、次のページに続きます。

(3) そうたさんは、カードの差が1, 2, 3の場合の2けたのひき算の答えを下のようにまとめました。



そうた

カードの差が1の場合、2けたのひき算の答えは9です。
カードの差が2の場合、2けたのひき算の答えは18です。
カードの差が3の場合、2けたのひき算の答えは27です。
カードの差がわかれば、2けたのひき算の答えはかけ算で簡単に求めることができます。

そうたさんが言うように、カードの差を使って、2けたのひき算の答えをかけ算で簡単に求めることができるきまりがあります。

このきまりを、言葉と数を使って書きましょう。

そのとき、「カードの差」、「2けたのひき算の答え」の2つの言葉を使いましょう。

解答らん

(例)

カードの差に9をかけると、2けたのひき算の答えになります。